

第1回奈良市学校規模適正化検討委員会会議録

■ 日 時 平成20年(2008年)8月1日(金) 15:30~17:00

■ 場 所 春日野荘(吉野の間)

■ 委員名簿 奈良市学校規模適正化検討委員会委員(20名)(敬称略、順不同)

会 長 重松 敬一 (学識経験者・奈良教育大学副学長)
上野 ひろ美 (学識経験者・奈良教育大学教授)
八尾坂 修 (学識経験者・九州大学大学院教授)
小柳 和喜雄 (学識経験者・奈良教育大学教授)
岡田 博義 (保護者代表・奈良市PTA連合会会長)
向谷 仁美 (保護者代表・奈良市PTA連合会中高校部会部長)
今中 和子 (保護者代表・奈良市PTA連合会小学校部会部長)
副会長 酒井 重治 (学校代表・奈良市立学校園長会会長)
福井 敏雄 (学校代表・奈良市立中学校長会会長)
武野 正 (学校代表・奈良市立小学校長会会長)
山村 悦子 (学校代表・奈良市立幼稚園長会会長)
吉岡 正志 (地域代表・奈良市自治連合会会長)
田中 幹夫 (弁護士・奈良市顧問弁護士)
津山 恭之 (行政代表・政策監)
上田 和利 (行政代表・総務部長)
吉本 賀勇 (行政代表・市民生活部長)
神田 義隆 (行政代表・市民活動部長)
荒木 恵子 (行政代表・保健福祉部長)
中室 雄俊 (行政代表・学校教育部長)
嶋田 康敬 (行政代表・教育総務部長)

■ 出席者 委員 17名 (欠席:上野委員、武野委員、神田委員)
事務局 10名 (学校教育課長、学務課長、教育総務課長
教育企画課長、教育企画課職員6名)

■ 議 事

1. 開会
2. 委員委嘱
3. 教育総務部長あいさつ
4. 委員自己紹介・事務局職員紹介
5. 会長・副会長選出
6. 議事
(1) 学校規模適正化(前期計画)の進捗状況について
(2) 作業部会の設置について
(3) 今後のスケジュールについて
7. 閉会



■開会

- ・事務局が、平成20年度第1回奈良市学校規模適正化検討委員会の開会を告げた。

■委員委嘱

- ・教育総務部長が各委員に委嘱状及び辞令を交付した。

■教育総務部長あいさつ

■委員自己紹介・事務局職員紹介

■会長・副会長選出

- ・奈良市学校規模適正化検討委員会設置要綱第5条第2項に基づき、委員の互選により重松委員が会長に選出され、重松会長が副会長に酒井委員を指名した。
- ・同設置要綱第6条に基づき、重松会長が議長となった。

■学校規模適正化（前期計画）の進捗状況について

□会長

- ・今回、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、事務局からこれまでの検討経過や進捗状況等についてご説明をお願いします。

□事務局

- ・学校規模適正化（前期計画）の進捗状況等について説明した。

□会長

- ・平成19年度から22年度の前期計画部分について事務局から説明いただきましたが、初めてお聞きになる委員の方には、すぐにご理解いただくのは難しいのではないかと思います。
- ・ご質問等はございませんか。

□A委員

- ・東部地域に住んでいる私の同級生の話では、保護者の思いと地域の人の思いが一致しない部分が多々あるみたいで、そのズレがかなり深刻な状況だと聞いています。
- ・子どもたちにとって何がいいのか、親がしっかり勉強しないといけないと思うので、市PTA連合会として部会ごとに勉強会をしていきたいと考えています。

□B委員

- ・鼓阪北幼稚園が鼓阪幼稚園に統合されるという噂を聞いて、びっくりしました。
- ・幼稚園は保育時間が短いし、4歳・5歳ぐらいになるとお昼寝をせずに遊びたがるので、うちの子は幼稚園が終わったら近所のお友だちの家へ遊びに行っていました。もし統合されてお友だちの家が遠くなると、「子どもたちは幼稚園から帰ってからどうして遊ぶのかな、自宅でビデオを見るのかな、それは困るな」と思ったりします。
- ・鼓阪で認定こども園というのを考えておられるということですが、保育時間の延長や3歳児保育などをしていただければ、先ほど申し上げた問題も解消されるかなと思います。

□C委員

- ・「特認校制度」について、現在の状況を教えてください。
- ・幼稚園を小学校の中に併設するということが書かれていますが、いずれはそういう形になっていくのですか。

□事務局

- ・「特認校制度」とは、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、奈良市内のどこからでも就学を認める制度です。学校選択制の一つと考えており、現在、研究を進めているところです。
- ・今後、「通学区域検討委員会」等とも調整し、慎重に検討していきます。
- ・幼稚園を小学校の中に併設することについては、小学校の空き教室の状況にもよりますので、全ての小学校で実施するというものではありません。

□C委員

- ・統合となった場合、スクールバスでの送迎ということになるのですか。

□事務局

- ・今後、検討が必要であると考えています。

□D委員

- ・この検討委員会の場で、「この地域ではこういう問題があるんです。」という本音の部分を教えていただければ、参加させていただく意味があると思います。今日の説明では、どう動いていくべきかわからない。

□会長

- ・一般的に、古くからある地域では学校が地域の中心となっていて、地域から学校が無くなるということは文化が無くなることと同じと言われるます。

□D委員

- ・学校は地域活動の拠点でありますので、それを変えるというのは、地域を担っている皆さんにとっては相当覚悟がいることだと思います。

□C委員

- ・学校が統廃合となった場合、跡地を例えば公民館のように地域の方が学べる場として残していくことは検討されていますか。

□事務局

- ・各地域の状況を把握に努めており、地域の方々のご意見も伺いながらそれにマッチしたものを提案していければと考えております。ただ、財政事情もありますので華やかなものは難しいと思います。

□副会長

- ・自治会の活動について教えていただきたい。どういうことをされているのですか。
- ・子どもたちとのつながりの中で、学校の存在が自治会にとって不可欠なのか、それとも単に場所だけの問題なのか教えてほしい。

□D委員

- ・自治連合会は48ありますが、地域によってそれぞれ色が違います。
- ・全部把握しているわけではないのですが、地域で行事をするときには小学校が拠点になっていることが多いので、学校はマグネットのような役割をしていると思います。

□副会長

- ・自治会も統合していくようなかたちで、拠点を他の場所に移すことは可能ですか。

□D委員

- ・例外的ですが、学校が統合されても、前の自治連合会がそのまま残っていて1つの小学校に2つの自治連合会があるところがあります。
- ・小学校が一緒になるから自治連合会も一つにする、というのは難しい部分もあると思います。
- ・民主主義は時間がかかりますが、時間を惜しまずによく話し合っていたきたい。
- ・「決めた以上はやる」という情熱をもって進めてもらいたい。

□会長

- ・学校の再編の問題は、教育の質を高めたいということですので、そのために人の数が必要で、自治会も学校と不可分ではありますが、活性化するためには地域だけにとらわれずに、プラスαの部分を考える必要があると思います。
- ・今回の全国学力調査で奈良県の結果を出したのですが、地域の行事をよく知っていて、よく参加しているという子どもは学力が高い傾向がありました。何でも積極的に行動することで、学力も上がるのではないかと思います。

□E委員

- ・いい施設を建ててほしいなど地域からの色々な要求を全て聞き入れるのではなく、大変だと思いますが、理解してもらえるように繰り返し地元説明会を持つ方がいいと思います。

■作業部会の設置について

□会長

- ・もう少し具体的に進めていくために、作業部会を設けて検討したいと思うのですが。

□事務局

- ・富雄南幼稚園において平成21年4月から認定こども園制度の導入を予定しておりますが、平成20年3月に「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」が改訂され平成21年4月から施行されるため、市立幼稚園、保育園及び認定こども園の教育・保育のカリキュラムを策定する必要がでてきました。
- ・策定には専門知識を要しますので、作業部会として上野委員を部会長とする「カリキュラム策定部会」を設置したいと考えております。

□会長

- ・本日、上野委員が欠席されておりますが、「カリキュラム策定部会」設置について、委員の皆様への承諾をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

全 員 了 承

- ・部会の委員など具体的なことについては、今後事務局と相談させていただきたいと思っております。

■今後のスケジュールについて

□会長

- ・今年度は当検討委員会を、学期に1回程度、合計3回開催させていただきたいと考えており、次回は12月の中旬ごろの開催を予定しております。
- ・それでは、第1回の奈良市学校規模適正化検討委員会をこの辺で閉会したいと思っております。